



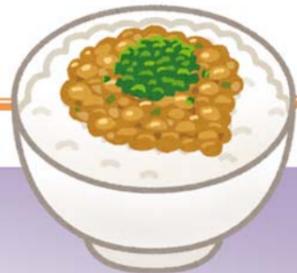
## 飲んでいる薬について本当に理解していますか？

### 質問の多いお薬の疑問について お答えします！

Q. 血液をサラサラにする薬を飲んでいると納豆を食べてはいけないと聞きますが、本当ですか？

A. 納豆を食べてはいけないお薬は限られています。

血液をサラサラにする薬を飲んでいるからといって、絶対に食べてはいけないわけではありません。気になる方は医師、薬剤師へ相談してください。



Q. 漢方って飲みにくいです。

歯に詰まってしまったりしてうまく飲み込めないのですが、いい内服方法はありませんか？



A. お湯に溶かして飲んでいただくと飲みやすくなります。電子レンジを使用する場合は漢方薬を溶かす前に水を温めてから溶かして内服することをお勧めします。

Q. 朝ご飯を食べない時は朝の薬が飲めません。どうすればいいですか？



A. 食事を食べなくても飲めるお薬があります。

基本的には軽く食事をとっていただき内服をお勧めしますが、どうしても食事できない場合は自分の飲んでいるお薬が空腹時でも飲めるものかどうか病院で相談してください。

内服するタイミングは患者さん個人の病態で異なります。必ず決められた用法用量を厳守して内服してください。

Q. 血圧が下がってきて調子が良くなってきたので最近飲んでない薬があります。

A. 調子がいいからと言って勝手に止めてしまってもはいけません。

内服中止の確認を必ず医師へ！

お薬の自己中断

NG!



みなさんこんにちは！

今回はお薬特集号ということで、お薬のよくある疑問にお答えしました。

病院で働く薬剤師は、調剤薬局の薬剤師とは大きく違い、患者さんの検査結果や医師の指示を最大限活用してお薬の情報提供を行うことができる職種です。当院の薬剤師は、医師からもらう指示（例えば処方箋）を腎機能や肝機能を考慮して医師へ再度薬剤用量の調整を提案したり、お薬の管理はもちろん点滴の配合変化や、お薬の飲み合わせ等で患者さんの副作用発生を未然に防ぐ為の鑑査等も行っています。また、お薬の飲み忘れをなくすことも薬剤師の大切な仕事です。当院の売店で販売されているお薬カレンダーや 100 円均一ショップにもお薬の飲み忘れを少なくするお助けアイテムが沢山販売されているので、一部紹介させていただきます。



第7号



👉 当院売店販売中（おくすり当番）

👉 100 円で購入可能例  
（当院では売ってません。）

👉 配薬例

このように自分に合った安価で使いやすいお薬管理グッズを見つけて毎日の内服管理にお役立ててください。

# お薬特集号



医療法人桜丘会 水戸ブレインハートセンター

〒310-0004 茨城県水戸市青柳町 4028

TEL:029-222-7007 FAX:029-222-7008